

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|----------------------------|----------------|--|--|
| 家計 動向 関連 (東北) | ◎ | 衣料品専門店（店長） | ・前年は秋からのGo Toキャンペーンなどで経済活動が一気に盛り上がり、11月末くらいまでそこそこ良かった。ここ数か月続く経済の落ち込みをみると、人々の心理状況が再び経済活動を盛り上げる方向に向かっているのではないかと予測され、前年のそこそこ良かった状態まで回復してくるのではと期待している。 |
| | ◎ | 観光型旅館（スタッフ） | ・新規感染者数の大幅な減少により、緊急事態宣言は9月末で全面解除される。また、ワクチン接種も進んでいるので、景気は良くなる。 |
| | ○ | 商店街（代表者） | ・新型コロナウイルス新規感染者数の減少が予想される。 |
| | ○ | 商店街（代表者） | ・緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除されるため、人流増加が予想される。 |
| | ○ | 一般小売店〔書籍〕（経営者） | ・消費マインドは、現在のワクチン接種状況や経済対策に加え、総選挙もあり、大変不透明である。しかし、気持ち的には良くなっていくのではないかとみている。 |
| | ○ | 一般小売店〔寝具〕（経営者） | ・新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきて、客との対面がしやすくなると、商品を薦めやすくなり、売上につながりやすくなる。 |
| | ○ | 百貨店（売場主任） | ・ワクチン効果も見え始めており、今後の景気刺激策への期待もある。まだ予断を許さないが、回復に向かうものとみている。 |
| | ○ | 百貨店（営業担当） | ・感染状況によるものの、ワクチン接種は確実に進んでおり活動への安心感が生まれていることと、政府の経済支援による下支えにより、購買動向への期待が持てる。 |
| | ○ | 百貨店（買付担当） | ・ようやくワクチン接種が加速し、幅広い年代で接種が可能になった。11月には2回目がほぼ打ち終わるとみられ、ウィズコロナ生活も新しいステージに移っていくと考える。自粛中心の生活スタイルから、行動範囲や購買動向等に変化が出ることを期待したい。 |
| | ○ | 百貨店（経営者） | ・緊急事態宣言の解除後は少しずつ来客数も増えてきているが、宣言前の流れには戻っていない。来月からは客の動員施策を前年以上に連打し、消費喚起に結び付けていく。期待する流れまではしばらく時間が掛かりそうである。 |
| | ○ | スーパー（経営者） | ・ワクチン接種が進み、かかっても重症化しにくいことで気分的に緩くなり、年末に向けて景気は上向いてくると予想している。 |
| | ○ | コンビニ（経営者） | ・買上点数や単価は横ばい状態で推移しているので、来月からの規制解除又は緩和で繁華街に人出が戻れば、当店の立地上、多少なりとも景気は上向くのではないかとみている。 |
| | ○ | コンビニ（経営者） | ・ワクチン接種が進んでいることと新規感染者数の減少に伴い、まん延防止等重点措置も解除されるため、人の動きが活発になるとみている。 |
| | ○ | コンビニ（店長） | ・緊急事態宣言も全国的に完全に解除になるということで、人流も増え、飲食店街や土日の客足も大分戻ってくることが予想される。今より悪くなることはない。期待している。 |
| | ○ | 衣料品専門店（経営者） | ・新型コロナウイルスによる行動制限が緩和されて落ち着いてくれば、動き出す気分になり外出時の洋服の購買意欲につながるとみている。 |
| | ○ | 衣料品専門店（経営者） | ・ワクチン接種の進行が今までより早くなることによって、徐々に景気回復していくと予測する。 |
| ○ | 衣料品専門店（店長） | ・新型コロナウイルス新規感染者数が落ち着き、ウィズコロナなど新たな取組が打ち出されれば、少しずつ消費者の動きが戻ってきて回復につながってくるとみている。 | |
| ○ | 住関連専門店（経営者） | ・ワクチン接種もかなり進んでおり、経済活動の制限も解除されるので、経済が活発化し景気も徐々に上向きになるとみている。 | |
| ○ | その他専門店〔酒〕（経営者） | ・コロナ禍の緊急事態関連や地元選挙も終わり、飲食店がやや持ち直すのではないかとみているが、各地で再開できない店がかなり出ると予想される。元に戻ることはないと思われるので、過大な期待はできない。 | |

| | | |
|---|-------------------------|---|
| ○ | その他専門店〔食品〕 (経営者) | ・今月で宣言解除の方針とのことなので、少し来客数が回復するとみている。しかし、年明けには新規感染者数の増加で再び来客数が減っていくのだろう。あと1～2年はこの繰り返しではないだろうか。 |
| ○ | その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕(営業担当) | ・当地には緊急事態宣言もまん延防止等重点措置も出ていないが、真面目な気質の人々ばかりなので外には出ない人が多い。来月に全て解除になったとしても恐らくは今までどおりの生活を続けるとみられるが、ほんの少しでも人流が戻り経済活性化の兆しでもあればと期待している。 |
| ○ | その他専門店〔ガソリンスタンド〕(営業担当) | ・9月後半より販売量に持ち直しの兆しがある。ワクチン接種率の向上と規制緩和によって行楽などが増加することが予想される。 |
| ○ | その他専門店〔ガソリンスタンド〕(営業担当) | ・ワクチン接種の進展やまん延防止等重点措置の解除などにより、消費者の動きが活発になるとみている。 |
| ○ | その他小売〔ショッピングセンター〕(統括) | ・ワクチン接種が進み、感染拡大のリスクが減ることによって、消費購買意欲も前向きになってくることが予想される。多少のリバウンド消費にも期待している。 |
| ○ | 一般レストラン(経営者) | ・願望に近いが、ワクチン接種が効果を出し始めているということと、感染が収まってくるということで、今よりは少し客が来てくれるのではないかと期待している。ただ、リバウンドがくればまたそれもどうなるかという心配もある。 |
| ○ | 一般レストラン(経営者) | ・まん延防止等重点措置の適用が9月末で終わる。現在休業しているので、10～12月はやや良くなるとみている。ただ、コロナ禍以前のような状況に戻るにはまだまだかなり時間が掛かるとみている。 |
| ○ | 一般レストラン(経営者) | ・来月から通常営業ができるということに関しては良くなる。しかし、当店は会社関係の客が多く、会社からは余り出るなといわれているようなので、なかなか飲食につながらないのではないかとみている。第6波の危険性もあり、客がすんなり外に出て飲食できるようになるには、まだまだ厳しい状況が続くとみている。 |
| ○ | 観光型ホテル(スタッフ) | ・県をまたいでの旅行が活発になりそうなので、多少の集客は望めるとみている。 |
| ○ | 観光型ホテル(スタッフ) | ・冬になり再び新規感染者数が増えない限りは、国や自治体の施策が始まり、経済活動が活発化するのではないかとみている。 |
| ○ | 観光型旅館(経営者) | ・ワクチン接種、緊急事態宣言の解除、新規感染者数の減少と条件は好転してきたので、これからの行楽シーズンに期待したいところである。第6波の懸念もあり大きく好転とはいかないが、今よりは良くなるとみている。 |
| ○ | 旅行代理店(従業員) | ・新型コロナウイルス新規感染者数が減少傾向にあることやワクチン接種が進んだことで、客の意識も緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除による移動の規制解除を想定した期待感を持つようになり、予約状況も個人旅行を中心に緩やかな回復傾向がみられる。 |
| ○ | 旅行代理店(従業員) | ・ワクチン接種が進み、Go Toキャンペーン事業又は県民割が復活すればやや良くなるとみている。 |
| ○ | 旅行代理店(従業員) | ・時間を要するとみられるGo To Travelキャンペーンや県単位での地域観光事業支援を再開することと、行動規制が徐々に緩和されていくことを願いたい。 |
| ○ | タクシー運転手 | ・最近、市内において観光客を多く目にする。今月末をもってまん延防止等重点措置が解除されることから、旅行を我慢していた関東及び関西方面の人たちが、大手を振って観光に来るとみている。よって、景気は徐々に良くなっていく。 |
| ○ | 通信会社(営業担当) | ・緊急事態宣言の繰り返しで自粛生活が定着したためか、自宅でのWi-Fi利用者が徐々に増えてきている。テレビをインターネットに接続して利用している人も増えてきているので、年末に向けて通信サービスの契約が増加していくと期待している。 |
| ○ | 通信会社(営業担当) | ・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置も解除され、ワクチン接種率も上がっていることから、人が動きやすくなる。 |
| ○ | テーマパーク(職員) | ・緊急事態宣言解除や県民割などにより、来客数の増加に期待ができる。 |

| | | |
|---|----------------------|--|
| ○ | 観光名所（職員） | ・振り客も微増から1けた上がったような増加率になっている。また、一般業者扱いの団体客も予約が埋まりつつあり、かなり増加の傾向にある。このままでいけば、ここ3か月よりも更に景気が回復するのではないかとみている。 |
| ○ | 美容室（経営者） | ・当県の新規感染者数の減少に伴い、来客数のマイナスは変わらないがマイナス幅が小さくなるような兆候がみられる。まん延防止等重点措置の終了やワクチン接種率の向上により、僅かなりとも戻ってくるとみている。前年並みに近いところまでいってほしいと願っている。 |
| ○ | その他サービス〔自動車整備業〕（経営者） | ・緊急事態宣言の解除により人々の気持ちが前向きな明るい気持ちに転換することを期待している。 |
| □ | 商店街（代表者） | ・新型コロナウイルスの影響は小さくなるが景気の回復は一部にとどまるとみている。 |
| □ | 一般小売店〔医薬品〕（経営者） | ・今のところワクチン接種が進んでいるが、新型コロナウイルス変異株により感染が再拡大したら、今の状態とほとんど変わらないくらい悪い状態が続くのではないかと考えている。 |
| □ | 一般小売店〔医薬品〕（経営者） | ・県内の需要は今とそう変わらないとみている。県外から人が来れば需要もその分増えるので、交流がなければこの先も余り変わらない。 |
| □ | 一般小売店〔酒〕（経営者） | ・新型コロナウイルス新規感染者数がようやく減少傾向となり、ワクチン接種も再開し進んでいるが、今の状況がすぐに良い方向に向くとは考えにくい。 |
| □ | スーパー（経営者） | ・10月はワクチン接種も更に進み感染者数も減少し、社会活動、経済活動等制限解除も徐々に進む。経済対策等も検討されているようなので、第6波が発生しなければ、企業や事業所の活動も正常に戻ると期待したい。ただ、国内経済の対策効果には期待しているが、海外との取引の正常化には時間を要するようなので、景気の浮揚にも消費拡大にももう少し時間が掛かるとみている。 |
| □ | スーパー（店長） | ・相変わらず来客数の減少が続いており、それに伴い売上も落ちている。この状態はまだまだ続きそうである。 |
| □ | スーパー（店長） | ・ワクチン接種率の向上に合わせて、行動制限の緩和も出てきている。今後再び新型コロナウイルス新規感染者数が増加するのか、このまま安定するのかによって受ける影響も変わるが、新型コロナウイルスの状況は予測がつかないので、現状と変わらないと考える。 |
| □ | スーパー（企画担当） | ・新型コロナウイルスはまだ収束しそうでないので、緊急事態宣言が解除されたとしても、年内は今のままで続きそうである。食品小売業界に関しては、前年からある程度高い水準で推移している。 |
| □ | スーパー（営業担当） | ・まん延防止等重点措置が解除され客の行動が多少活発になるかもしれないが、コロナ禍における収入減少の影響で経済は厳しく、買物は更に慎重になる。衝動買いはなく、今後も現状からの変化はないとみている。 |
| □ | コンビニ（経営者） | ・このまま新型コロナウイルス新規感染者数が減っていき、ふだんの生活に戻っていけば人の流れも戻ってくるとみている。景気が少しずつ良くなっていく可能性もある。しかし、今のところはなかなか人の流れが戻ってこないのも、しばらくは現在と変わらない状況が続くのではないかとみている。 |
| □ | コンビニ（経営者） | ・ワクチンの接種率が8割程度まで進み、そこから数か月過ぎるまでは景気の回復は期待できないとみられる。 |
| □ | コンビニ（エリア担当） | ・秋の行楽需要は新型コロナウイルス収束が不透明で見込めない。年末商戦も前年同様の動きになるとみている。 |
| □ | コンビニ（エリア担当） | ・今後の新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、県外移動や旅行等を大きく促進していかないと、景気の改善は進まないとみている。 |
| □ | 衣料品専門店（経営者） | ・ワクチン接種が順調に進み、早急に緊急事態宣言が解除されて元の生活に戻る日を期待している。人出の回復を願っている。 |
| □ | 衣料品専門店（総務担当） | ・新型コロナウイルス収束のめどが立たないうちは回復は見込めない。 |
| □ | 家電量販店（店長） | ・前年同様、新型コロナウイルスの感染拡大の危険性があり、上向き可能性は低い。 |
| □ | 家電量販店（従業員） | ・現状、購入に向かうようなイベントがなく、年末に向けて買い控えの傾向が予測される。 |

| | | |
|---|-----------------------|---|
| □ | 乗用車販売店（従業員） | ・半導体の不足により新車の販売がなかなか伸びない。今後も半導体不足は解消しそうにない。 |
| □ | 乗用車販売店（従業員） | ・国外で生産している部品が通常どおり生産されても、現状、新車の納期遅れが生じているので、数か月で回復する見込みは薄い。 |
| □ | 乗用車販売店（従業員） | ・車両販売会社としては余り明るい材料はない。新型コロナウイルスや半導体問題はまだまだ解決しそうにない。新車の販売台数は現状維持も厳しい。その他でカバーするとしてもトータルで見ると現状維持になるとみている。 |
| □ | 乗用車販売店（店長） | ・しばらくのあいだ生産調整が改善される見込みはないため、収益的にも我慢が続くとみられる。 |
| □ | 住関連専門店（経営者） | ・個別注文家具なので予定を組まないと生産、納品できない。もう12月までは確定しており、予定どおり進んでいる。コロナ禍で打合せ等においてテレワークやデジタルトランスフォーメーションへの取組が必要になってくると考えている。 |
| □ | その他専門店〔靴〕（従業員） | ・ワクチンの接種が進んでおらず、外出自粛傾向は当面続くとみている。 |
| □ | 高級レストラン（経営者） | ・ワクチン接種も進んでいるので、多少良くなるとみている。 |
| □ | 高級レストラン（スタッフ） | ・自民党総裁選が終わり次第、また緊急事態宣言が出され、人の動きは少なくなることが予想される。観光業、ホテル等にとっては、より一層厳しくなる状況である。12月まで続けば、来年はこの業界から離れる人が多くなる。 |
| □ | 高級レストラン（支配人） | ・県独自の緊急事態宣言が出てから来客数は一気に減った。その後も客足は戻ってこない。あとはGo To Eatキャンペーンのチケットの利用が見込めるが、恐らく12月のテイクアウト品に回るのではないかと予想している。 |
| □ | 通信会社（営業担当） | ・緊急事態宣言は解除になるが、冬に感染の拡大が心配される。それがなければ多少は良くなるとみているが先行きは不透明である。自民党政権が継続するか否か、政治が不安定になることが予測されるため3か月後も変わらないとみている。 |
| □ | 通信会社（営業担当） | ・大きく変化する材料に乏しく、このまま継続するとみている。 |
| □ | 通信会社（営業担当） | ・景気が上向く気配を感じられない。 |
| □ | 遊園地（経営者） | ・感染の下火とワクチン接種の進展に期待しているが、消費マインドがどれくらい回復してくれるかである。 |
| □ | 競艇場（職員） | ・今が過去最低の状態なのでこれ以上落ち込むことは考えにくい。しかし、イベント等で来場促進を行っていないことから売上が上がることも考えにくく、現状維持が精一杯とみている。 |
| □ | 住宅販売会社（経営者） | ・相変わらず一般物件の受注は好調だが、木造住宅の受注は低迷している。ただし、大小不動産売買の動きは好調である。 |
| □ | その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員） | ・ワクチン接種が進んでから来場者数も上向きになっているが、新型コロナウイルスの感染者がリバウンドした場合は、再度来場者数は減少するため、現段階では変わらないことを予想している。 |
| ▲ | 商店街（代表者） | ・9月は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用もあったため最悪の状態であった。この先いろいろな形で影響が出て急激に回復に向かうような感じはなく、消費が戻ってくるのは随分先になる。先の見通しが余りたない状態である。 |
| ▲ | 商店街（代表者） | ・年末年始商戦までに新型コロナウイルス感染の終息は期待できず、飲食業関連を中心に業況はますます厳しくなる見込みである。 |
| ▲ | 一般小売店〔医薬品〕（経営者） | ・实体经济は、事実として少なからず停滞している。それを金融政策や補助金の交付などによって下支えしているという印象を受ける。いずれ、この状態が崩れるときが来るのではないかと心配している。 |
| ▲ | スーパー（店長） | ・世の中への新型コロナウイルスの影響が少なくなれば、飲食店への客の出入りが増え、スーパー業界に影響が出る可能性がある。 |
| ▲ | スーパー（営業担当） | ・秋のイベントの自粛傾向、青果物の価格不安定の影響、水産物の漁獲量の変化といったことによる販売方法の変更に苦慮するのではないかと不安がある。 |

| | | | |
|----------------------------|---|-------------------|--|
| | ▲ | コンビニ（経営者） | ・最低賃金の引上げで、人件費が上がり、ますます厳しくなる。 |
| | ▲ | コンビニ（エリア担当） | ・たばこ増税により、たばこ購入頻度が低下する可能性があり、買い合わせが多い飲料の売上低下も予測される。 |
| | ▲ | 家電量販店（店長） | ・新型コロナウイルスの感染が収まり、景気が回復するとみている。季節的な商品は、暑さ寒さはあるがおおむね買換え需要などで平年並みに推移すると予想している。 |
| | ▲ | タクシー運転手 | ・ワクチン接種の効果もあって高齢者は多少動き出しているが、40～50代の人の動きはまだまだ悪い。今後ワクチン接種の更なる効果が出てくることを期待している。 |
| | ▲ | 設計事務所（経営者） | ・最低制限価格や調査基準価格を想定した金額での応札割合が増えている。そのような応札状況が続くと、これまで1件受注して賄えていた費用を確保するために、2件以上の物件を受注しないと達成できない状況が生まれる。震災復興工事の需要もなくなり、新型コロナウイルスの改善に多くの費用が回されている現状を考えると、公共工事への投資は更に減少する。じわじわと景気が後退していくとみられる。 |
| | ▲ | その他住宅〔リフォーム〕（従業員） | ・住宅設備機器については商品の納品遅れは数か月続くとみている。リフォームについても納品遅れにより工期が延びるとみられる。 |
| | × | スーパー（経営者） | ・新型コロナウイルス第6波が出始める頃である。また、商品の値上げも相次ぎ、その部分での価格競争が厳しくなる。 |
| | × | コンビニ（経営者） | ・県独自の緊急事態宣言は解除されたが客が戻ってきていない。これから寒くなるので、上向くことは難しいとみている。 |
| | × | コンビニ（経営者） | ・売上が下がり続けて、最低賃金が上がり、除雪代の支払が始まる。どうやって生活していけばいいのか分からない。 |
| | × | 一般レストラン（経営者） | ・緊急事態宣言が解除されるので、地元のホテルでは予約の動きが出始めているようである。しかし、人が動けば新型コロナウイルス新規感染者数が少なからず増え、年末辺りは悲惨な状況になるのではないかと予想している。 |
| | × | 通信会社（営業担当） | ・景気が上向くのは来年度以降とみている。緊急事態宣言が解除され、G o T oキャンペーン関連等、早めの景気向上施策に期待したい。 |
| 企業 動向 関連 (東北) | ◎ | 建設業（企画担当） | ・景気の上振れ要因、下振れ要因共に新型コロナウイルスの感染者数、死亡者数によるとみている。ワクチン接種の進展により、明らかに感染者数、死亡者数が減少している。加えて、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が政府方針で解除になるので、上振れすると考えている。 |
| | ◎ | その他企業〔企画業〕（経営者） | ・町内の温泉街では宿泊申込みや問合せがきている。よって、緊急事態宣言が解除された後は客の増加が見込まれる。 |
| | ○ | 食料品製造業（営業担当） | ・来月からは徐々に行動の制限が解除されるということで、観光客も徐々に増えてくるのではないかと期待している。 |
| | ○ | 金属製品製造業（経営者） | ・年末商戦にかけて、受注量が更に増えることが予想される。 |
| | ○ | 建設業（従業員） | ・契約手続中の公共工事など、一定の受注契約が見込めている。 |
| | ○ | 輸送業（経営者） | ・ようやく最近良くなる兆しが若干みえてきた。ワクチン接種が進んできたことが要因の1つだとみている。今後緊急事態宣言等の制限解除により経済活動が動き出せば物流量も増えてくるとみているが、主要製造業取引先は新型コロナウイルスの感染拡大以前から減産を実施しており、新型コロナウイルス感染が収まっても回復は余り期待できない状況である。 |
| | ○ | 通信業（営業担当） | ・新機種の発売及び緊急事態宣言が明けることで、客の購買意欲が高まっている。 |
| | ○ | 金融業（広報担当） | ・ワクチン接種も一巡し、これからは秋の自然観光資源と共に一次産品流通が盛り上がる時期を迎えることもあり、諸経済活動に活気が戻るものと期待している。 |
| | ○ | 広告代理店（経営者） | ・今が底の底だと考えている。新型コロナウイルスの飲み薬も開発されれば、広報活動も活発になるとみている。 |
| | ○ | 経営コンサルタント | ・新型コロナウイルス新規感染者数が一定レベルまで減少すれば、経済が動き出す。 |

| | | | |
|------------------|---|----------------------|---|
| | ○ | 公認会計士 | ・ワクチン接種が進み感染が落ち着いてくれば、政府の振興策にもよるが、飲食、小売、サービス業などで業績の回復が見込まれる。建設関係の一部落ち込みはあるが、全体としては景気が上向くとみている。 |
| | ○ | その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者） | ・当社の売上が前月、今月と前年比で110%強になっていることから、全体的にやや良くなってきたようであり、今後にも期待が持てる。取引先の状況も食品の売上は意外と安定しており、やや多くなっているという話を聞く。 |
| | ○ | その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者） | ・10月より県内の飲食店の営業時短要請、酒類の提供停止要請などの制限が全面解除される。 |
| | □ | 農林水産業（従業者） | ・ぶどう、なしの販売単価が1～2割程度高かったので、天候に恵まれたりんごにも期待が持てる。 |
| | □ | 食料品製造業（営業担当） | ・今年に入ってから状況に変化はなく、まだまだ改善が見込めない。 |
| | □ | 出版・印刷・同関連産業（経営者） | ・冬の新型コロナウイルスの再流行が懸念される。 |
| | □ | 出版・印刷・同関連産業（経営者） | ・緊急事態宣言やまん延防止等が解除されても、人々の行動様式が即座にコロナ前までのように回復するとは思えない。日常を取り戻すには相応の時間を要する。 |
| | □ | 電気機械器具製造業（企画担当） | ・半導体製品の需給バランスが徐々に元に戻ってきており、この後も通常の状態が継続すると考えられる。 |
| | □ | 電気機械器具製造業（営業担当） | ・取引先において既設設備に対する修繕費削減を継続している。 |
| | □ | 建設業（従業者） | ・ワクチン接種が進むまでは大きな変化はないとみている。 |
| | □ | 通信業（営業担当） | ・客のニーズに合わせて、リモートワークに沿ったプランを提案することに注力していく。 |
| | □ | 広告業協会（役員） | ・ワクチン接種は進んでいるが第6波の予想もあり、先行きの不透明感が強い。企業の販促活動が数か月のうちに活発になるとは考えにくい。 |
| | □ | 広告代理店（経営者） | ・新型コロナウイルスの第6波の懸念などがあり、見通しが立たない。 |
| | □ | 司法書士 | ・例年並みの状況で推移している。 |
| | □ | その他企業〔協同組合〕（職員） | ・受注案件及び受注量は微増傾向にあるが、原材料、部品等仕入れの一部入手遅れや価格の上昇から、納期調整及び製造原価増加への対応に迫られている。 |
| | ▲ | 農林水産業（従業者） | ・今後も、新型コロナウイルスの影響等により、米の過剰在庫は解消されないとみている。 |
| | ▲ | 窯業・土石製品製造業（役員） | ・官民の需要が低迷しており、下期も上向く要因が見当たらない。 |
| | ▲ | コピーサービス業（従業者） | ・半導体の品薄解消のめどが立っていないことに加え、ここに来て仕入先からの値上げ要請がまた増えてきている。現状では良くなる材料が見当たらない。 |
| | × | 食料品製造業（経営者） | ・ワクチン接種が進んではいるが、観光や出張が増えるのはまだ先だとみている。いつまで我慢すればいいのか。 |
| 雇用 関連 (東北) | ◎ | 人材派遣会社（社員） | ・東北進出企業の大口案件が動きつつある。また、有料職業紹介事業も成果がコンスタントに出てきており、3か月先も明るい見通しである。 |
| | ◎ | 人材派遣会社（社員） | ・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が9月30日で解除されるため、飲食業でも10月の予約が入ってきている。アミューズメントや旅行の予約などでも各団体の動きが出てきている。各物流会社でも物の動く準備としてフォークリフトや倉庫の人員を補充し始めている。ここに来てあらゆる業種からの求人問合せが増えてきているため、景気の回復を見込んでいる。 |
| | ○ | 人材派遣会社（社員） | ・自動車業界及び周辺産業など、一部の業界での先行きが不明瞭な点はあるが、ITや生産設備、半導体周りを中心に需要が高まっている業界もある。当面は全ての業界が一気に悪くなるという見通しはなく、市況感に応じて客の需要を適切に把握し、そちらに合わせた行動をすることで支援人数を増やせる見込みである。 |
| | ○ | 人材派遣会社（社員） | ・ワクチンの接種状況が進み、10月からは宣言も解除となる。サービス業中心に復調するとみている。 |
| | ○ | 人材派遣会社（社員） | ・ワクチン接種が進んでおり、全国的に感染者数も減少傾向にあるので、若干回復傾向に向かっているとみている。 |

| | | |
|---|----------------|---|
| ○ | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | ・9月末で緊急事態宣言などが解除されても、経済活動が本格的に動き出すことはなく、様子見しながらの動きになり、徐々に改善していくとみている。今後、新型コロナウイルスの新規感染者数の急拡大などがなければ、年明け以降大幅に改善するとみている。 |
| ○ | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | ・県独自の緊急事態宣言も解除となり、県の旅行支援が再開する。関連業界も含めた経済活性化につながるとみている。 |
| ○ | 職業安定所（職員） | ・飲食店など人流に左右される業種は、ワクチン効果による人流回復によって年末にかけて少し上向き、求人も増えるのではないかとみている。 |
| ○ | 職業安定所（職員） | ・新型コロナウイルスの新規感染者数が減るにつれて人流も回復傾向になってきている。年末までに飲食、観光に客が戻っていくことが期待できる。 |
| ○ | 学校〔専門学校〕 | ・第6波が懸念されるが、新型コロナウイルス新規感染者数の減少、緊急事態宣言等解除に合わせ、総裁選挙による一時的な経済の活性化が期待される。しかし、新内閣の動向によりそれが期待できないことも十分に考えられる。 |
| □ | 人材派遣会社（社員） | ・現在のコロナ禍においては求人数、求職者数の動きを含めて、採用が多くなるなどの期待はできない。ワクチン接種も大分進んでいるが、どのような影響があるのかについては何ともいえない。 |
| □ | 人材派遣会社（社員） | ・新型コロナウイルスの感染が一時的に収束している。リバウンドがなければよいかと考えている。 |
| □ | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | ・コロナ禍の影響はまだ続くと予想する。 |
| □ | 職業安定所（職員） | ・少子高齢化による労働力人口の減少の影響もあるものの、新型コロナウイルスによる影響が少なく人手不足を訴える企業から多数の求人が提出されており、有効求人倍率が2倍を超える状況が続いている。 |
| ▲ | アウトソーシング企業（社員） | ・新型コロナウイルスの終息がみえないなかで、人減らしが多く起こっているようである。 |
| ▲ | 職業安定所（職員） | ・前年と今年の8月の有効求人数と新規求人数を比較すると、有効求人数は約400人増加しているが、新規求人数は約400人減少している。自動車メーカーが減産体制に入ったため、自動車部品製造工場でのライン停止などの影響が出てきており、今後の推移が懸念される。 |
| × | — | — |